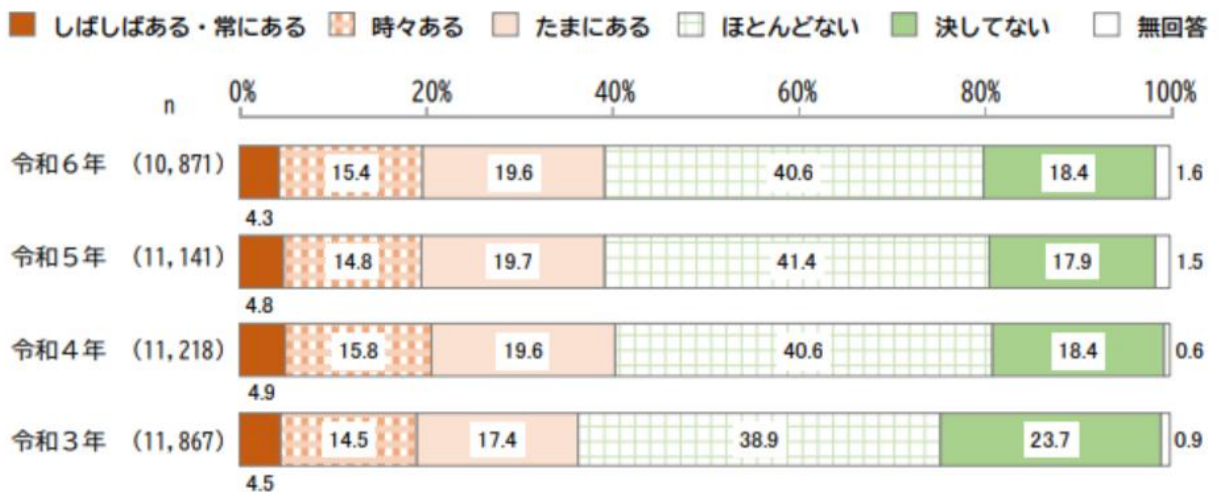


内閣官房孤独・孤立対策担当室「人々のつながりに関する基礎調査(令和6年)」

調査概要

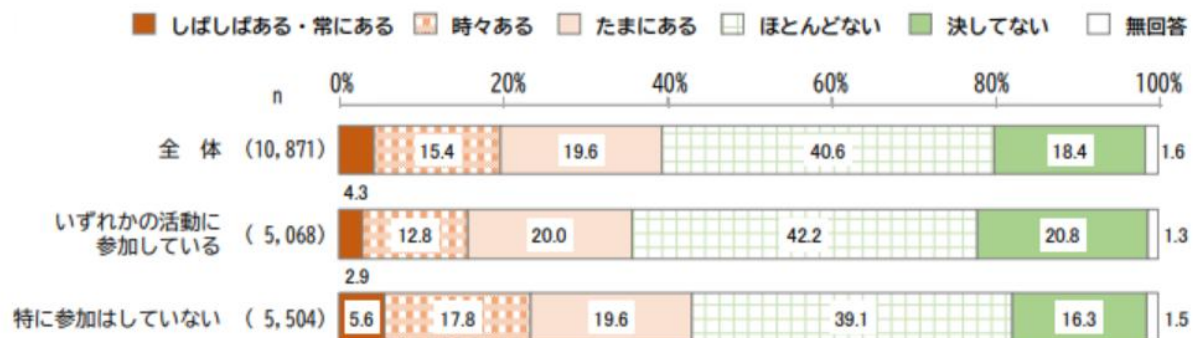
- 調査対象: 全国の満16歳以上の個人20,000人
(住民基本台帳を母集団とした無作為抽出法により選定)
- 調査方法: 調査対象者に調査書類を郵送
- 実施時期: 令和6年12月1日～令和7年1月31日
- 回収数: 10,876件(54.4%)

(1) 孤独の状況



令和6年に孤独感があると回答した人は39.3%となっており、令和3年と比べて2.9%増えています。

(2) 社会活動への参加状況別孤独感



社会活動に参加しているの方が、孤独感が低い結果が出ています。社会活動の種類としては、「スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動」が32%で最も多く、次に「PTA・自治会・町内会などの活動」が17.3%となっています。

